

# 森林政策

愛知県の森林・林業政策

日時：平成25年9月7日（土） 10:00～12:00

講師：岡山 厚志（愛知県農林水産部 技監）

## 概況



世界の陸地面積の約3割が森林であるが、世界的に減少傾向にあり、南米や東南アジアの減少率が高い。

日本の国土の約66%が森林で、世界第3位。かつては国土の半分近くまで減少したことがあった。急速な人口増加によって、里山を利用し尽くしたためである。明治に入り徐々に森林は回復していったが、現在のような姿になったのは燃料革命の結果であり、50年ほど前のことである。

木材価格は、昭和30年頃には国家公務員の初任給が8,700円の頃に1?当たり1万円とかなり高価なものであった。昭和55年をピークとし、下落傾向。木材は国際商品であり、外材が価格形成を担っている。

木材の自給率は、一時20%まで落ちたが現在では26～27%に回復している。政府は平成32年に50%以上を達成することを目標に施策を実施している。

愛知県の森林率は全国41位、森林面積は37位だが、古くから林業が営まれてきたことから人工林率は3位、木材・木製品出荷額は2位。森林の齢級は高くなっており森林資源は充実しつつある。しかし、林業の採算性の悪化から皆伐はほとんど行われないので、新たな造林は少ない。林業従事者数も減少しているが、平均年齢は高性能林業機械の導入などもあり、若返り傾向にある。素材生産性は、低コスト木材生産などの取組から平成17年以降増加しつつある。

国の施策である森林・林業基本計画として、森林の有する多面的機能の発揮、国産材自給率50%、林業の持続的かつ健全な発展を目指し、各種施策を展開することとしている。

愛知県が目指す森づくりは、積極的な林業活動が行われている森林づくり、自然の力を活かして育まれている森林づくり、身近な里山林として活用されている森林づくりを目指す。

- ①食と緑の基本計画：木材生産量12万m<sup>3</sup>、5年間で26千haなどの目標値の設定
- ②あいち木づかいプラン：低層公共建築物の原則木造化、公共施設・公共工事での県産木材の利用率50%の達成。
- ③あいち認証材制度：愛知県産木材の認証と認証材利用に対する支援制度。
- ④あいちの森と緑づくり事業：森と緑づくり税を利用し、間伐や里山林整備、都市の緑の創出などを行う。
- ⑤低コスト林業の推進：高性能林業機械の導入、輸送コストの削減、再造林コストの削減

これからの課題と取組として、①林業の再生、木材の安定供給に必要な体制の確立、③多様で健全な森林の整備がある。